

千曲市スポーツ少年団

第15回ハンドボール大会開催要項(案)

1. 目的 体力の向上、スポーツの理解とマナーの向上を図ると共に、団員相互の交流を深める。
2. 主催 千曲市スポーツ少年団
3. 主管 千曲市スポーツ少年団指導者協議会
4. 共催 千曲市教育委員会・千曲市体育協会
5. 日時 平成30年2月25日(日)

午前7時30分 集 合(戸倉体育館)

7時50分～ 本部表彰式・開会式

(1) 開式

(2) 感謝状・表彰状受賞者表彰

(3) 優勝旗・優勝杯・準優勝杯返還

(4) 主催者あいさつ

(5) 来賓祝辞

(6) 選手宣誓

(7) 競技上の注意

(8) 事務連絡

(9) 閉式

8時30分 試合開始

6. 会 場 戸倉体育館

7. チーム編成

Aブロック(主力選手で構成)

Bブロック(5年生以下で構成)

Cブロック(女子で構成)

※各ブロックに2チームまでの参加とする。

8. 競技規則

(1) 日本ハンドボール競技規則及び本大会の申し合わせ事項により行う。

Jクイックハンドボール競技規則は適用しない。

(2) 試合方法は、トーナメント方式とする。

(3) 審判は千曲市ハンドボール協会へ依頼する。

(4) 競技時間は 前半7分 — ハーフタイム3分 — 後半7分とする。

(5) 試合開始時及び延長戦開始時のスローオフについては、試合開始前・延長戦開始前にトス(ジャンケン)により決する。なお、後半については、前半にスローオフを行わなかったチームがスローオフを行う。

- (6) 同点の場合は、2分間の休憩を挟み 2 分間の延長を行い、それでも決まらない場合は、試合を続行し（試合を止めない）、先に点を入れたチームを勝者とする。
- (7) 試合中の選手交代は自由にできる。（ただし、キーパーがフィールドプレイヤーとしてプレーする場合又はその逆の場合の交代は、ハーフタイム時のみとする。） **特別ルール**
- (8) 試合球は、小学生用試合球（1号球）を使用する。
- (9) ボールを掴みやすくするためのマツヤニ、両面テープなどの使用を禁止する。
（ただし、けが予防等のために指や手にテーピングを巻くことは可とする。）
- (10) コートのベンチは抽選番号の若いチームが、オフィシャル席に向かって右側とする。

9. メンバー表提出後のメンバー変更について

- ・インフルエンザ感染等の疾病や試合中の怪我による欠場者多数で、チーム構成ができなくなった場合（出場選手が7人に満たない場合）に限り、同じ団の中で以下のケースでメンバー変更をすることができる。
- ・メンバー変更があった場合には、各試合開始前に各コートのオフィシャル席に欠場者と変更した選手の申し出をし、相手チームの監督の承認を得なければならない。
但し、この場合において、一度メンバーから外れた選手についてはどのブロックにおいても復帰することはできない。また、変更した選手については再度変更することはできない。

	変更ケース	変更の可否	条件
①	Bブロック登録の選手がAブロックに異動する	可	
②	Aブロック登録の選手がBブロックに異動する	可	5年生以下の選手に限る
③	Cブロック登録の選手がAもしくはBブロックに異動する	可	Bブロックへの異動は5年生以下の選手に限る
④	A・Bブロックの選手がCブロックに異動する	不可	
⑤	同ブロック内のチーム間で選手を異動する	可	

※団内の選手が不足し、大会当日緊急に合同チーム等を結成して大会に出場する場合は、初戦のみに出場できることとし、勝利しても勝ち上がれない。なお、ハンドボール競技規則では、試合開始時、5名以上の選手が出場していれば試合は成立する。

10. 表彰

各ブロック1位～3位のまでチームを表彰する。

11. その他

- (1) 傷害保険については、各団で加入しているスポーツ傷害保険を適用すること。
- (2) メンバー表（別紙）は、大会抽選前に提出すること。
- (3) 各団、団旗・プラカードを準備する。
- (4) 戸倉体育館剣道場を解放しますので、準備体操等に使用すること。
- (5) 試合コート以外でのボールの使用は禁止する。
（ボールを使用した練習は前の試合のハーフタイムに試合コート内にて行うこととする）
- (6) 会場の上・下履きの区別をキチンとすること。（当日は下履きを入れる袋を持ってくること。）
- (7) 試合開始時間が若干前後することが予想されます。
- (8) インフルエンザの流行拡大による大会の開催については、市内の学校の感染者数等の状況を見て、本部役員及び事務局で判断する。

参加チーム数

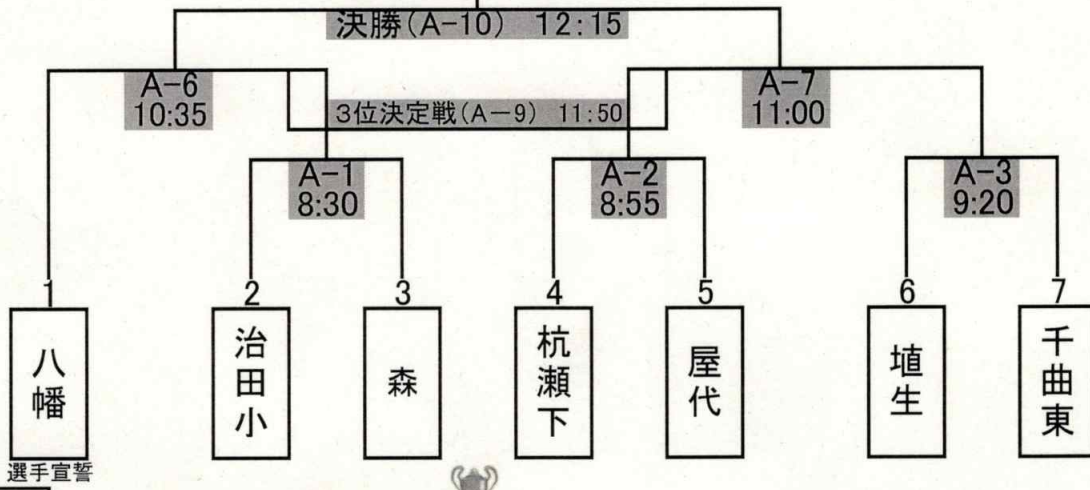
	団名	Aブロック	Bブロック	Cブロック	計
1	屋代	1	1		2
2	千曲東ストリームズ	1	1		2
3	森	1	1		2
4	埴生・鋳物師屋	1	2	2	5
5	杭瀬下	1	1		2
6	桑原（治田小）	1		2	3
7	八幡	1	1		2
計		7	7	4	18

屋代	3	3	0	6
埴生	2	3	2	7
更埴西	2	1	2	5
	7	7	4	18

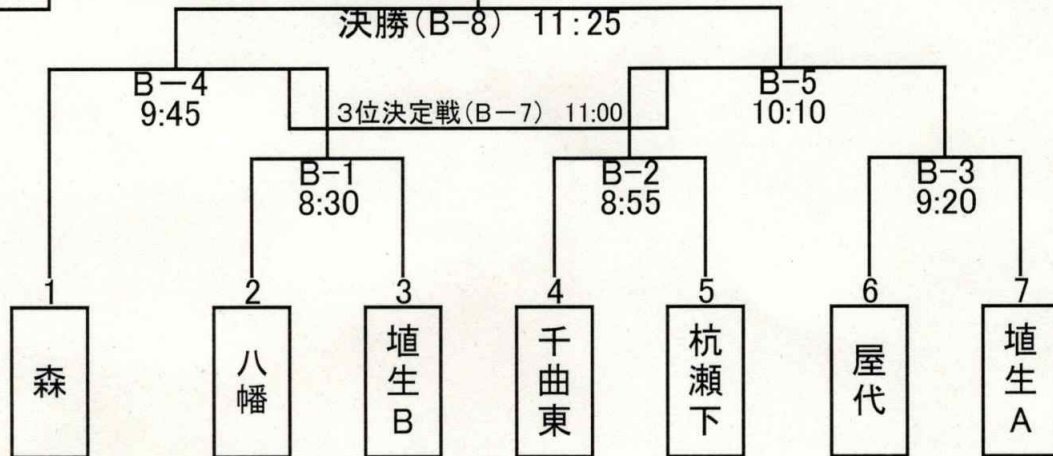
平成29年度千曲市スポーツ少年団 第15回 ハンドボール大会 組み合わせ表

Aブロック 戸倉体育館 北(A)コート
南(B)コート

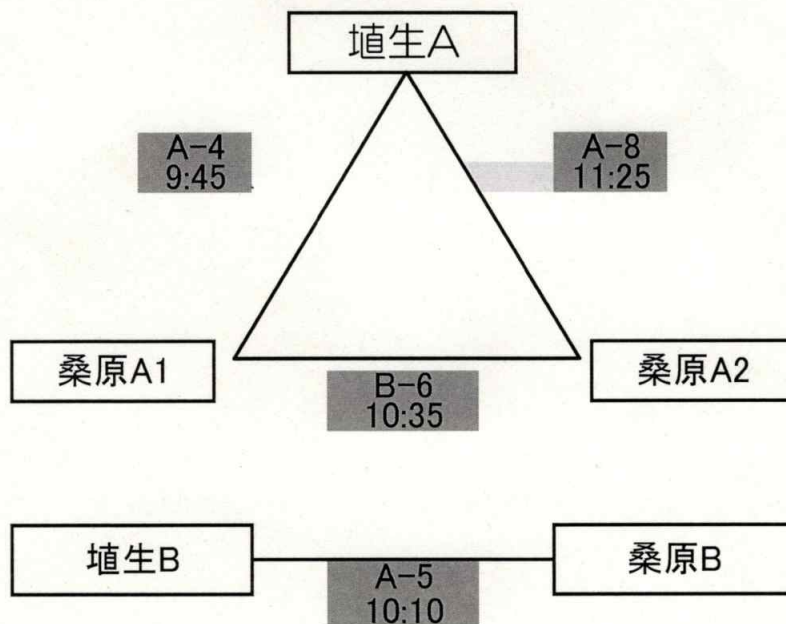
平成30年2月25日(日)



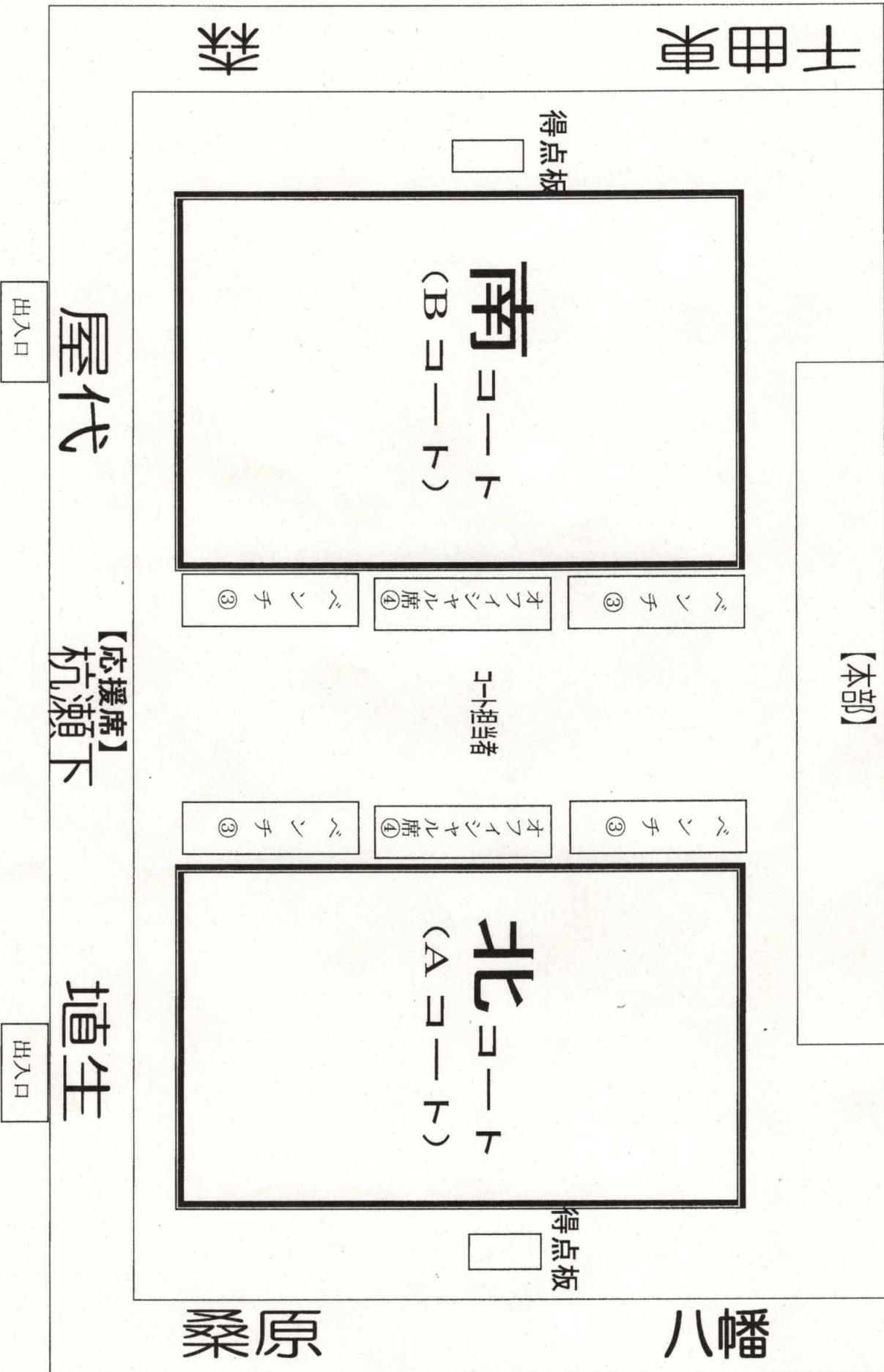
Bブロック



Cブロック (女子)



戸倉体育館会場図



当日の役割分担について

コート担当割振表

担当コート	担当する試合	担当団
戸倉体育館 A(北)コート	A-1~A-10	稲荷山、桑原、八幡、埴生
戸倉体育館 B(南)コート	B-1~B-8	杭瀬下、森、千曲東、屋代

※ コート担当者は、当日欠席をする場合、必ず代理出席の手配をお願いします。

※ コート担当の交替については担当者間で話し合ってください。(交替する場合は事務局へご連絡ください)

※ 自団の試合観戦等で、その場を離れる場合は、同じコート担当者と相談して、交替で行ってください。

当日のスケジュール

7:00 **指導協全員集合** 戸倉体育館

会場作り 机、椅子、得点板、ゴール等の設置 ※ 別紙会場図参照
各コート準備品の確認

【準備品】メンバー表(各コート分)・結果表・筆記用具・電光掲示板操作盤・ビブス(2セット)
ストップウォッチ(予備)・笛(予備)・団名板・セロハンテープ・ラインテープ・ハサミ・爪切り
布テープ(電気配線養生用)

7:30 **電光掲示板の操作確認**

試合運営 【開始時間】 8:30~

◎試合前

- ・対戦チームの招集
- ・メンバー表の変更受付(欠場者を線で消し、変更の選手名を赤字で記載)
- ※メンバーの変更は、各コート試合開始前までに行い、相手チームの監督に報告する。(背番号の変更のみの場合は相手チームへの報告の必要はない。)
- ・審判とメンバー表の番号とユニホームの背番号が一致しているかの確認。
- ※相手とユニホーム色が同じ場合は、両チームの監督と相談の上、ビブスを着用させる。
- ・団名の表示(電光掲示板へ団名板を入れる)

◎試合中

- ・得点、時間の表示(電光掲示板を操作する)
- ※得点とラインクロスの笛を間違えないようにする。
- 得点の笛・・・2回、センターレフリーがオフィシャルへ得点の合図を送る。
- ラインクロス of 笛・・・1回のみ笛が吹かれる。
- ※イエローカード、ペナルティースローの場合は時計をとめる。(審判の合図がある。)
- ※フリースロー時、時計はとめない。
- ・審判との連絡調整
- ・ストップウォッチによる計時と手書きによる得点記録も行う(予備)

◎試合後

- ・試合結果の記録・報告(各試合終了後、事務局に試合結果表を渡してください)
- 各コート試合終了後、片づけを行い解散

ハンドボール(小学生)の簡単な競技説明

＜試合時間＞

1試合前後半7分(前半7分、ハーフタイム3分、後半7分、入替え3分)。同点の場合は、2分間の休憩を挟み2分間の延長を行い、それでも決まらない場合は、終了のブザーが鳴っても試合を継続し、先に点を入れたチームを勝者とする。

＜ボール＞

小学生用試合球(1号球)

＜プレー人数＞

コートプレーヤー6名、ゴールキーパー1名の計7名であるが、試合中の怪我等によっては最低5名でも有効とする。

＜プレーヤーの交替＞

交替は決められた区域(交替ライン)の中で行う。この場合、人数や回数に制限はない。ただし、キーパーがフィールドプレーヤーとしてプレーする場合、又はその逆の場合の交代はハーフタイム時のみとする。

＜シュート＞

6メートルラインを越えてシュートすることはできない。ただし、6メートルラインの外側よりジャンプして、空中で6メートルラインを越え、着地前にシュートすることは構わない。

＜フリースロー＞

反則が起きた場合、反則したチームの相手チームにフリースローが与えられる。フリースローは反則のあった地点から行われる。ただし、反則のあった地点がゴールエリアラインとフリースローラインの間ときは、フリースローラインのすぐ外側の最も近い地点からフリースローを行う。

＜7メートルスロー＞

次の場合は7メートルスローが与えられる。

- (1) 明らかに得点チャンスが妨害されたとき。
- (2) 防御側のプレーヤーが、ボールを持った攻撃側のプレーヤーを邪魔するためにゴールエリアに入ったとき。(ゴールキーパー以外はゴールエリアライン内側でのディフェンスはできない。)
- (3) 投球者はスローが終了するまで片足を地面につけ、7メートルラインを踏んだり、踏み越したりしてはいけない。
- (4) 投球者はレフリーの吹笛の合図によって、3秒以内に直接シュートする。

＜その他＞

- (1) 滑り止めとしての松ヤニ・両面テープなどの使用は禁止とする。(ただし、けが防止等のために指や手にテーピングを巻くことは可とする。)
- (2) 次のケースでは、審判は該当する選手を2分間の退場とする。
 - ・不正交代と不正入場があったとき。

- ・「相手に対する動作」の違反、スポーツマンシップに反する行為、相手選手がスローを行おうとしているときの違反などが繰り返し行われたとき。
- ・攻撃チームの違反が判定されたのに、すぐにボールを床の上に置かなかったとき。
- ・警告(イエローカード)を2回、審判に出されたとき。

(4) コートのベンチは抽選番号の若いチームがオフィシャル席に向かって右側とする。

(5) その他の競技規則については日本ハンドボール競技規則に準ずるものとする。

<試合方法>

各ブロックによるトーナメント方式。

<特に注意する反則>

- (1) ダブルドリブル・・・ドリブルしたボールを保持して、再びドリブルをすること。体に一度触れ、床に落ちたボールを同一者が拾い上げ、ドリブルをすることも、ダブルドリブルとする。
- (2) キックボール・・・キーパー以外がボールを足でプレーすること。
- (3) オーバーステップ・・・ボールをもって4歩以上歩くこと。
- (4) ホールディング、プッシング・・・相手をつかんだり、押したりすること。
- (5) ハッキング・・・相手の腕や手をたたくこと。
- (6) ラインクロス・・・プレーヤーがゴールエリア内に進入すること。
- (7) チャージング・・・相手にぶつかること。

<コート>

